

# 東北地方 1か月予報

(2月14日から3月13日までの天候見通し)

平成16年2月13日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

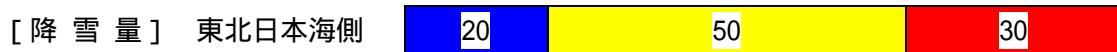
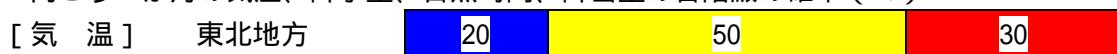
向こう1か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪又は雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並、東北日本海側の降雪量は平年並でしょう。

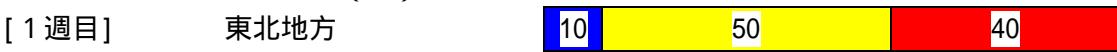
週別の気温は、1週目は平年並、2週目は平年並、3~4週目は平年並の見込みです。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



低い(少ない)    平年並    高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



低い    平年並    高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 2月14日(土) ~ 3月13日(土)

1週目 : 2月14日(土) ~ 2月20日(金)

2週目 : 2月21日(土) ~ 2月27日(金)

3~4週目 : 2月28日(土) ~ 3月12日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は2月20日

3か月予報：2月25日(水) 14時00分

暖候期予報：2月25日(水) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	降雪量(cm)	気温( )		
					1週目	2週目	3~4週目
大船渡	1.8	62.9	150.1	14	1.0	1.5	2.2
新庄	0.1	123.7	79.5		-0.9	-0.3	0.7
若松	0.8	63.8	113.3	84	-0.2	0.3	1.4
深浦	0.8	74.3	72.5	45	-0.2	0.4	1.3
青森	0.0	90.3	98.8	142	-1.1	-0.4	0.6
むつ	-0.5	79.2	116.3		-1.5	-0.8	0.0
八戸	0.2	47.5	147.1	47	-0.8	-0.2	0.8
秋田	1.2	91.3	90.1	58	0.2	0.8	1.8
盛岡	-0.4	61.6	143.3	48	-1.4	-0.8	0.3
宮古	1.2	75.8	161.5	33	0.4	0.8	1.7
酒田	2.4	102.7	84.8	40	1.5	2.0	2.9
山形	0.9	65.6	118.8	69	-0.1	0.4	1.6
仙台	2.7	54.8	161.2	18	1.9	2.3	3.2
石巻	1.9	49.5	170.7		1.1	1.5	2.5
福島	2.9	57.4	157.1	29	2.0	2.4	3.5
白河	1.6	50.2	163.9		0.7	1.0	2.2
小名浜	4.6	70.9	176.5	0	3.8	4.2	5.1

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.7~+0.6	82~110	96~104	65~123
東北日本海側	-0.6~+0.6	92~108	91~107	74~129
東北太平洋側	-0.6~+0.6	72~118	98~104	57~120

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.9~+1.0	-0.9~+0.8	-0.5~+0.5
東北日本海側	-0.9~+0.9	-0.8~+0.8	-0.6~+0.5
東北太平洋側	-0.9~+1.0	-0.8~+0.8	-0.5~+0.5

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率(階級の定義から各階級とも同じで33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を受けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成16年2月13日 仙台管区気象台

## 1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(2月14日~3月13日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪又は雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(2月14日~2月20日) :

明日(14日)から明後日(15日)にかけて、発達した低気圧の影響で荒れた天気になるでしょう。期間の中頃にも、気圧の谷の影響で天気がくずれる見込みです。その他の日は冬型の気圧配置となり、東北日本海側では雪の降る日が多く、東北太平洋側では沿岸部を中心におおむね晴れる見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(2月21日~2月27日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪又は雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(2月28日~3月12日) :

気圧の谷が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側は曇りや雨又は雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

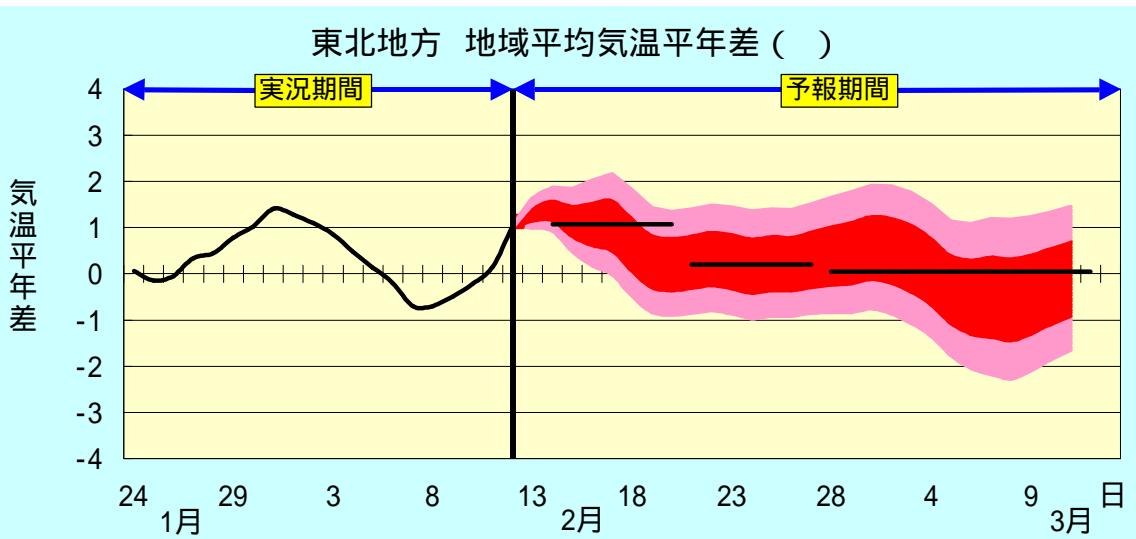
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	8.7日	1.7日	1.9日	5.1日
東北太平洋側	17.6日	4.3日	4.3日	9.0日

## 2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目は「高い」、2週目と3~4週目は「平年並」と予測している。予報は、週間予報資料から、1週目を「平年並」とする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

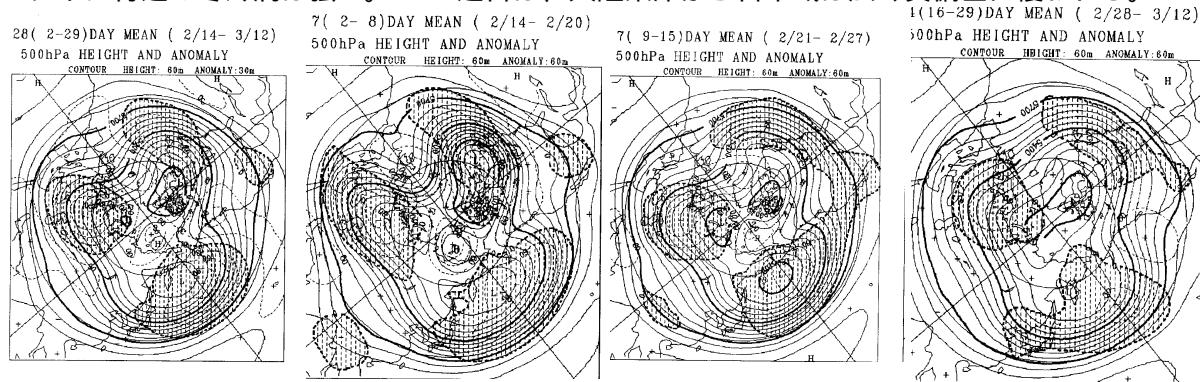


### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極付近は正偏差、北日本は日付変更線付近に中心を持つ負偏差に覆われる。日本の東海上に寒気が南下しやすく、北日本は寒気の影響を受けやすい見込み。

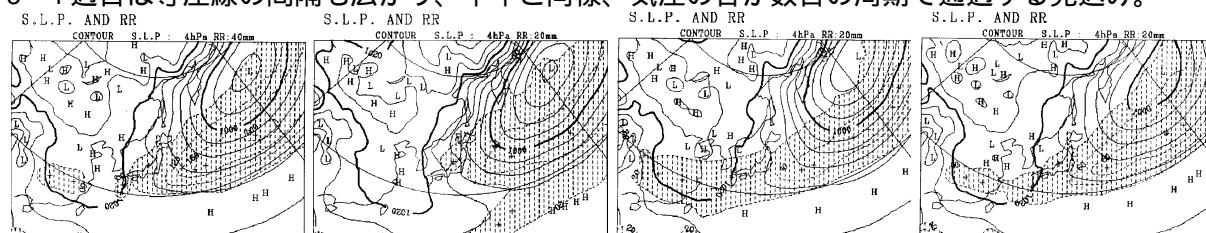
週別に見ると、1週目は月平均と同様。2週目は、東北地方は弱い正偏差に覆われるが、アリューシャン付近の寒冷渦は強い。3~4週目は、大陸東岸から日本域は広く負偏差に覆われる。



地上気圧と降水量：

月平均では、北日本中心の冬型の気圧配置。アリューシャンの低圧部は平年より強い。降水域は、日本の南海上と日本海側にかかる。

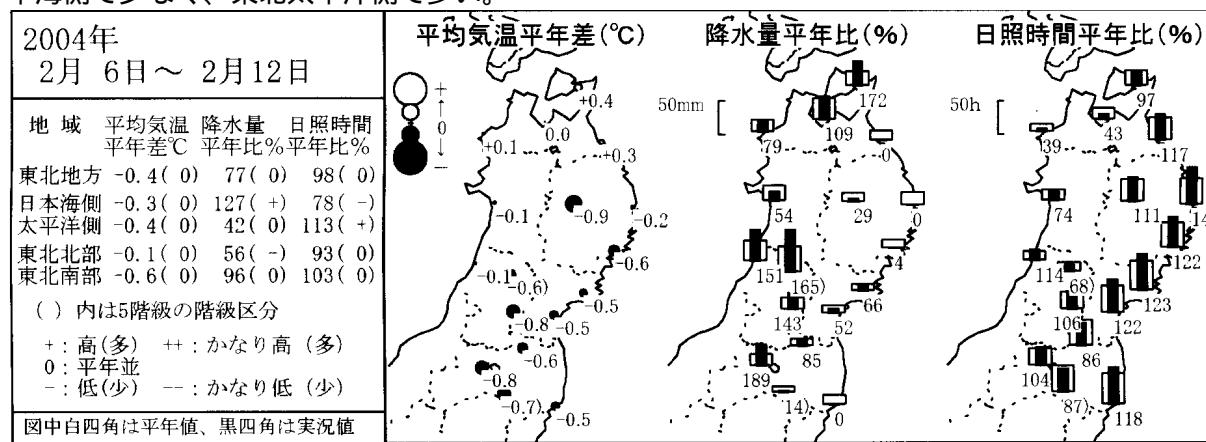
週別に見ると、1週目は冬型の気圧配置。2週目は月平均と同様で、降水域の中心は日本の南岸。3~4週目は等圧線の間隔も広がり、平年と同様、気圧の谷が数日の周期で通過する見込み。



### 4. 最近1週間（2月6日～2月12日）の天候の経過

この期間、6~7日は冬型の気圧配置が強まり、東北日本海側は雪で、東北太平洋側でも雪となつた所があった。その後も9日までは冬型の気圧配置が続き、東北日本海側は雪で、東北太平洋側はおおむね晴れた。10日以降、冬型の気圧配置が緩み、東北日本海側でも晴れた所があった。

平均気温は平年並。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)